

令和5年度京都府自殺対策推進協議会

1 日時・場所

令和5年9月4日(月) 15時～16時30分
京都ガーデンパレス「祇園の間」(2階)

2 出席者

(1) 委員 (24名中18名)

○会場(10名)

河瀬委員、小林委員、近藤委員、寺内委員、中嶋委員、平田委員、本郷委員、金山委員代理、山田委員代理、松原委員代理

○ オンライン (8名)

石倉委員、尾角委員、武田委員、西村委員、波床委員、波戸瀬委員、廣谷委員、三木委員

(2) 京都府

東江健康福祉部副部長、宮村地域福祉推進課参事、教育庁学校教育課、障害者支援課ほか

3 議事等

(1) 会長の選出及び会長代理の指名等について

- 委員の互選により、河瀬委員を会長に選出
- 河瀬会長により、三木委員を会長代理に指名
- 団体推薦委員の代理出席に係る運営について承認

(2) 京都府の自殺の現状について

- 事務局から資料1に基づき説明

(3) 京都府自殺対策推進計画(第2次)に基づく施策の実施状況について

- 事務局から資料2(1)～(2)に基づき説明

(4) こどもの自殺対策緊急強化プランについて

- 事務局から資料3に基づき説明

(5) 質疑・主な意見

- 20歳未満の自殺者のうち特に多い層は。
- 経済的困窮は自殺にどれくらい影響しているのか。
- 50代自殺者の内訳をどのように分析しているのか。
- 債務を抱えた若年女性による自殺はどうか。
- 自殺ストップセンターの相談件数およびその推移をどのように捉えているか。
- 自殺ストップセンターの年代別件数は。
- 子どもSNS相談での虐待およびヤングケアラーの相談はどれくらいか。
- 学校関係者を対象としたゲートキーパー養成の過去実績は。児童・生徒によるオーバードーズの問題への対策のため強化できると良いのでは。
- 地域住民によるゲートキーパーへの関心は高い様子。
- 京都市における発見日・発見地と自殺日・住居地の自殺者数に乖離があり、理由が気になっている。

- 自殺対策を一層進めていくためにも、機関・団体同士の顔の見える関係が重要。
- (6) その他
- 出席者より各団体での取組内容の紹介がなされた。